

「江戸の判じ絵 ～再び これを判じてごろうじろ～」

2012年9月15日（土）～11月4日（日）

たばこと塩の博物館（東京・渋谷公園通り）で開催

会場は判じ絵三昧！！一度解いたらやみつきに！？

目で見るとなぞなぞ「判じ絵」約100点を一堂に。

たばこと塩の博物館（東京・渋谷公園通り）では、2012年9月15日（土）から11月4日（日）まで、「江戸の判じ絵 ～再び これを判じてごろうじろ～」を開催します。

日本には、古くは、和歌と関係した絵を数種並べ、そこから和歌を連想させる「歌絵」などのような、雅（みやび）な謎解きがありました。江戸時代に入ると、より庶民が親しめるようなものとして「判じ物」が広がっていきました。言葉遊びの一種である「判じ物」は、子どもたちの「なぞなぞ」のように問題から答えが単刀直入に出るものではなく、回答するには知識や機転が必要となります。近世以降にはさまざまなタイプの「判じ物」が流行をくり返し、次第に形が整えられていきました。

「判じ物」の中でも、言葉を絵に置き換えたものを判じて（解く・推理する）答えを導き出す「目で見るとなぞなぞ」を「判じ絵」といいます。例えば、「象」と、「金太郎」の上半身が描かれていれば、「ぞう・きん＝雑巾」と判じます。思わず笑ってしまうような答えですが、答えありきで問題用の絵が描かれるため、絵と回答は全く無関係となり、荒唐無稽なものばかりです。

本展では、1999年に当館で開催し、大好評だった「江戸の判じ絵展」の成果をもとに、今回初出展の作品50点ほどを含む約100点の判じ絵を一堂に集め、ご紹介します。現代人には、少し難しい問題もありますが、江戸時代の人々が楽しんだ視覚的ななぞなぞの魅力に、この機会に触れていただきたいと思います。

〈展示作品のご紹介〉→ 別紙1,2 〈展示関連講演会〉→ 別紙2 をご参照ください

「江戸の判じ絵 ～再び これを判じてごろうじろ～」開催概要

名 称 江戸の判じ絵 ～再び これを判じてごろうじろ～
（エドノハンジエ ～フタタビ コレヲハンジテゴロウジロ～）

会 期 2012年9月15日（土）～11月4日（日）

会 場 たばこと塩の博物館 4階特別展示室

開館時間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

所 在 地 東京都渋谷区神南 1-16-8（渋谷駅から徒歩10分。公園通り）

入 館 料 大人・大学生 100円（50円） 小・中・高校生 50円（20円）

※（ ）内は20名以上の団体料金 ※満70歳以上は入館料無料（要証明書）

休 館 日 月曜日（ただし、9/17と10/8は開館）、9/18（火）、10/9（火）



1. 「象」と金太郎の上半身で「雑巾」と判じます。

ご質問、画像データのご希望などございましたら、お気軽に広報担当までお問い合わせください。

お問い合わせ先：たばこと塩の博物館 広報担当：裊地（ほろち）由美子

E-mail: horochi@tsmuseum.jp

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-16-8

TEL: (03) 3476-2041 FAX: (03) 3476-5692

<http://www.jti.co.jp/Culture/museum/>

2.



「勝手道具はんじもの 下」
歌川重宣画
嘉永2年～嘉永4年 (1849～1851)

今回は、「道具」「動物」「食べ物」「地名」など、分野ごとに問題がまとめられた「物尽くし判じ絵」を多数展示します。1枚の「物尽くし判じ絵」には、おおむね10問以上の問題が載っています。

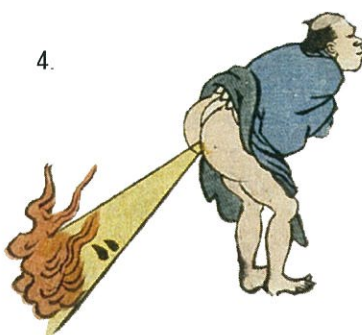
3.



お勝手道具です。
「茶」を「ガマ」が点
てているので、「ちゃ・が
ま=茶釜」と判じます。

幕末には、「茶」を点てて
いる「ガマ」の絵から
「茶釜」という答えを導
き出す「しゃれ」に近い
タイプの判じ絵が大流行
しました。

4.



虫の一種です。
「屁」と「火」に濁点
(・)で「ヘビ」と判じま
す(江戸時代にはヘビは虫のな
かまとされていました)。

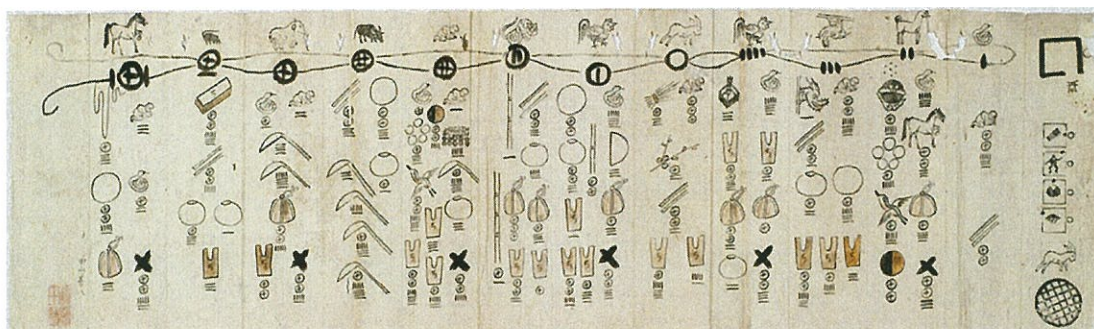
5.



「新版はんじ物 虫」
一猛斎芳虎画
嘉永2年～嘉永4年 (1849～1851)

「判じ絵」のなかまである「南部絵暦」「絵文字経」などの暦(こよみ)も紹介します。暦の中でも珍しい、岩手県の田山地方に伝えられている、文字は使わずに絵だけで描かれている「田山暦」。「種まき」や「収穫」など、一年間の農作業の指針となるように作られました。本展では、最古(天明三年)の田山暦といわれる作品をご紹介します。

6.



ぜひ一度、実際の判じ絵をご覧ください、その魅力に触れてください！！

画像データの用意がごさいます。ご掲載いただけるようでしたら、画像の番号を広報
担当までご連絡いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

広報担当：褰地(ほろち) TEL 03-3476-2041 E-mail: horochi@tsmuseum.jp

【展示関連講演会】

※当日先着順で整理券を配布します。

9月16日(日)

「江戸の判じ絵」

講師：岩崎均史（当館主席学芸員）

9月29日(土)

「おもちゃ絵と江戸のなぞなぞ」

講師：湯浅淑子（当館主任学芸員）

10月7日(日)

「ことば遊びの系譜 中世～近世」

講師：小野恭靖（大阪教育大学教授）

10月27日(土)

「物尽くし判じ絵」

講師：岩崎均史（当館主席学芸員）

※ 展示関連講演会は、いずれも午後2時から1階視聴覚ホールで開催。

※ 参加費無料（ただし入館料は必要です）。

※ 定員は、先着80名（いずれも当日開館時より整理券を1名様につき1枚配布します）。

7.



「江戸名所はんじもの」
歌川重宣画 安政5年(1858) 5月

8.



「東海道五十三次はんじもの 上」
歌川重宣画 嘉永2年～嘉永5年(1849～1852)